

CIRJE Newsletter

東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センターニューズレター

No.29

2021年4月

Center for
International Research on the
Japanese Economy (CIRJE)
Graduate School of Economics,
Faculty of Economics
The University of Tokyo

ワークショップ活動報告

当センターには、経済学研究科教員を中心に運営される14のワークショップが登録されています。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響に対応するため、ほぼすべてのワークショップ、研究会がオンラインで開催されました。今年度の取り組みについて、ミクロ経済学ワークショップ、マクロ経済学ワークショップ、応用統計ワークショップの幹事よりご報告いたします。

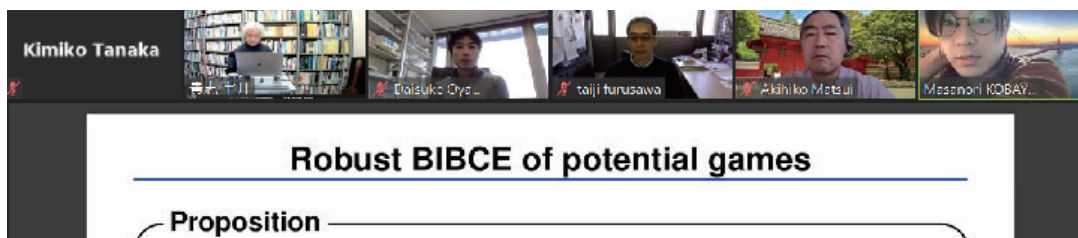
ミクロ経済学ワークショップ (Microeconomics Workshop)

社会科学研究所
田中隆一



ミクロ経済学ワークショップは、日本経済国際共同研究センターの支援のもと、週に1回をめぐりに定期的に開催されています。ミクロ経済学とそれを応用した理論・実証研究を中心に国内外から優れた研究成果を集めて、報告と意見交換の機会を提供しています。テーマは幅広く、ゲーム理論やインセンティブの経済学、メカニズムデザインや国際貿易論、労働経済学、産業組織論といった計量的実証ミクロ分析などに関心を寄せる本学の教員、大学院生、および国内外の研究者によって構成されています。ワークショップの参加者は、経済学研究科の教員・大学院生のみならず、社会科学研究所や公共政策大学院の研究者も参加しています。ミクロ経済学ワークショップの開催スケジュールはCIRJEのホームページに掲載されています。毎回、原則火曜日の10時25分から12時10分まで開催し、主として外部の研究者1人に105分の研究報告をしてもらいます。参加者は毎回20-30名程度で、毎回活発な意見交換が行われます。

今年度は近藤絢子教授と私(社会科学研究所)、古澤泰治教授と渡辺安虎教授(経済学研究科)が本ワークショップを担当いたしました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、対面でのワークショップ開催ができず、全てのワークショップはzoomを用いたオンラインでの開催となりました。当初は慣れないこともあり、色々苦労もありましたが、逆にオンライン開催となることによって例年よりも海外からの報告者や学外からの参加者が増えるという良い面もありました。また、台湾国立大学、シンガポール国立大学、香港科技大学と共同で開催しているApplied Economics Workshopや、東京労働経済学研究会、東京大学マーケットデザインセンターでのワークショップと共催することで、例年以上に優れた研究成果に触れる機会が増えました。研究会の後には、オンラインでのランチセッションを行い、研究報告の内容はもちろんのこと、新型コロナ禍での各地の状況など、研究以外の様々なトピックスに関しても活発に意見交換を行うことができました。本学の教員や学生に限らず他機関の研究者もご参加いただけます。ご関心のある方は、ぜひご参加下さい。



オンラインによる発表の様様

CIRJE Newsletter

目次

ワークショップ
活動報告

ミクロ経済ワークショップ

マクロ経済ワークショップ
応用統計ワークショップ

客員研究者
紹介

新センター長
紹介

CIRJE
ディスカッション
ペーパーシリーズ

客員スタッフ

スタッフ

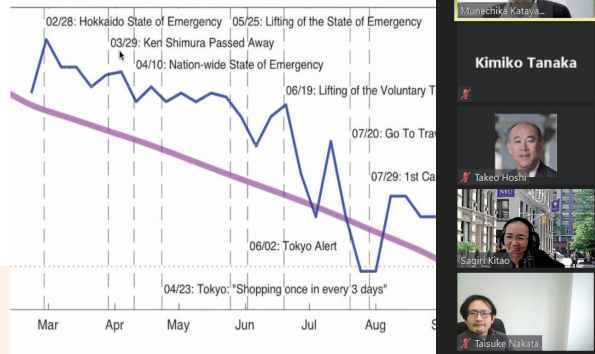
マクロ経済学ワークショップ (Macroeconomics Workshop)



北尾早霧

本ワークショップでは、マクロ経済学分野の研究報告を行い、国内外における最新の研究成果を共有し活発な議論を展開しています。2020年度はコロナ禍において対面での活動が制限されたことから、Zoomを使ったオンラインでのワークショップを実施しました。CIRJE スタッフと共に事前準備を重ね、試行錯誤しつつ全面的なオンライン移行に成功し、対面で行うのと変わらない発表と議論の機会を維持することが可能となりました。例年、本学経済学研究科教員のみならず、大学院生、首都圏の大学や研究所・官公庁などの研究者がワークショップに参加していますが、今年度はオンライン化したことで、通常のメンバーに加え、首都圏外や海外からも積極的な参加がみられました。

Reception in Japan (Preliminary)



本年度のワークショップは仲田泰祐准教授、楡井誠教授と私が担当いたしました。コロナ禍で海外研究者の来日が困難となる中、移動を伴わないZoomでの発表を依頼することができたのはオンライン化の大きなメリットの一つでした。今年度は、海外からはアメリカ、カナダ、中国、オーストラリアなどの研究者が発表を行いました。通常対面で行われる個別のミーティングや懇親会に代わり、研究発表とは別にインフォーマルなオンライン懇親会を開催し、議論を深めると同時に、研究者同士の交流を図ることもできました。

ワークショップにおいては、マクロ経済モデルを用いた理論的な分析を中心に、幅広いトピックの研究発表が行われました。今年度は、コロナ危機によるマクロ経済への影響、ゼロ金利制約下における金融政策の理論的・実証的考察、身体的・認知的健康状態と引退行動・社会保障制度改革の分析、技術進歩とスキルプレミアム・女性の労働参加などに関する研究報告が行われました。

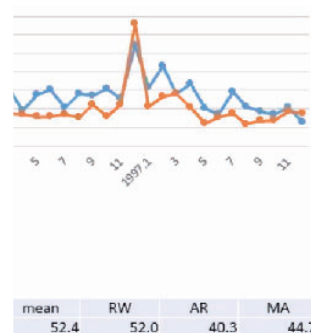
応用統計ワークショップ (Applied Statistics Workshop)

応用統計ワークショップ幹事

本ワークショップは、統計学・計量経済学を中心に、金融時系列、時空間統計、官庁統計、数理統計などに関心を寄せる本学の教員、大学院生、および国内の研究者によって構成されています。本学の教員には、経済学研究科のみならず、空間情報科学研究センターなど他の研究者も参加しています。

通常は隔週で開催し、外部の研究者に105分の研究報告をしてもらい、多角的な議論を展開します。今年度は、コロナ禍のため前半の7件の発表がキャンセルになりました。後半は、オンラインにより9回のワークショップを開催し、常に20～30名が参加していました。

本ワークショップの主要な目的は、外部研究者の最新の研究成果を参加メンバーと共有すること、特に大学院生に有益な知識とインパクトを与えることです。今年度発表されたトピックは、時空間データを解析するためのブートストラップ法、高次元スパースの確率過程における統計モデルのDantzig選択法、時系列分析における変数選択のための動的ベイズfused lasso、予測分布に基づくモデル合成のための基礎理論、方向データを解析するための統計的手法、深層学習の理論、時空間ARMAモデル、線形混合モデルの変数選択問題など多岐にわたっていました。中でも、平均ベクトルの推定におけるStein問題に関して、ある未解決問題を25年かけて最近解決できたという発表は、多くの参加者に刺激を与えるものになりました。



客員研究者紹介

当センターには、研究者を受け入れるための複数のポジションがあります。客員教授として、世界各地から研究者の皆様にご来訪頂いております。また、「短期客員研究者」へは公益財団法人野村財団からのご寄付により、多彩な研究者の皆様をお招きしています。今回は、2020年度にお越し頂いたお二方に滞在時の活動内容をお聞きしました。

客員教授

Department of Economics, Northwestern University, USA
Bruno Strulovici
(2020.5.18 - 7.7)



2020年の春から夏、コロナ禍のさなかに CIRJE に滞在いたしました。欧米が深刻な状況にある中、日本に滞在できたことは幸いでした。来日当初はリモートワークでしたが、滞在の後半はキャンパスで研究を進めることができ、また、大学院経済学研究科の教員や学生、CIRJE の研究者と個々に活発な交流をする良い機会となりました。CIRJE の素晴らしい環境の下で研究に取り組めたことは非常に有益で貴重であったと感じています。このような困難な時期に、松井彰彦教授をはじめ学部教員の皆様を受け入れて下さったこと、また、CIRJE スタッフのお二人が、私にとって快適で実り多い滞在となるよう努めて下さったことに感謝いたします。東京での滞在は、美しい川や講演を自転車で楽しむにも絶好の機会となりました。



滞在中は二つの主要なテーマ (1) 法と経済学 (2) 制度が機能するための倫理的行動の役割に焦点を当てて研究に取り組みました。(1) のテーマにおいては、現代の経済的観点からの法制度の分析を目的としたメカニズムデザインというツールを適用、推進することに取り組みました。(2) のテーマにおいては、エージェントが非論理的である場合に効果的な制度の構築という大きな課題について実証するため、いくつかの制度施行のモデルを構築しました。

今回の滞在は大変有意義で生産的なものとなりました。あらためて CIRJE の教員とスタッフの皆様にご心より感謝いたします。

短期客員研究者

School of Economics, University of Nottingham, UK
両角淳良
(2020.7.22 - 9.11)

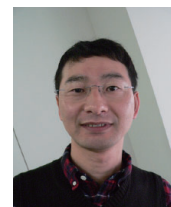


2020年夏に受け入れ教員である別所俊一郎先生のお招きで CIRJE に滞在させていただきました。滞在の主目的は「学校の予算裁量権が学校の教育手法および児童・生徒に与える影響について」という別所先生と社会科学研究所の田中隆一先生と3人で進めているプロジェクトを推進するためです。滞在中、新型コロナウイルスの影響でいろいろな制約もありましたが、CIRJE のスタッフのお二人のおかげで順調に研究を進めることができました。とても感謝しております。

研究は文部科学省より上記の研究目的で貸与していただいております「全国学力・学習状況調査」の個票データを主に使用したもので、「学校の説明責任」と「校長のマネージメント方法」を「学校の予算裁量権」と関連付けたうえで、それらの要因がどのように児童・生徒の学力及び非認知能力等の主要な成果指標に影響を与えるかを回帰分析の枠組みを用いて検証しようとするものです。最終的にはこの研究を通じて日本における教育施策改善・充実に資することを目標としています。また、滞在中は別所先生ご担当の財政ワークショップにおける論文発表などを通じて他の先生方とも交流・議論をさせていただきました。いろいろ大変示唆に富むコメントをいただくこともできまして、大変有意義な滞在になりました。最後になりましたが、今回の滞在を可能にいただきました野村財団様への謝辞を付け加えさせていただきます。重ねてありがとうございました。

新センター長に青木浩介教授が就任

2021年4月1日より下津克己前センター長の退任に伴い、青木浩介教授が日本経済国際共同研究センター長に就任いたしました。青木教授の専門はマクロ経済学で、2011年より東京大学大学院経済学研究科へ着任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。



CIRJE ディスカッションペーパーシリーズ

http://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/research/03research02dp_j.html

当センターでは2つのディスカッションペーパーシリーズ（Jシリーズ：日本語、Fシリーズ：外国語）を刊行しており、2020年4月から2021年3月の期間で、Jシリーズ2件、Fシリーズ14件が刊行されました。発行されたディスカッションペーパーは上記のホームページからダウンロードすることも可能です。

客員スタッフ

当センターの重要な役割の一つに、海外からの研究者の受け入れと研究交流促進があります。国内外の優秀な研究者を様々な分野からお迎えして研究活動を行っております。下記のリストは2020年度に来訪された客員スタッフです（所属は在籍当時）。

客員教授

■ Bruno Strulovici (2020.5.18 - 7.7)
Department of Economics, Northwestern University, USA

■ 野田俊也 (2020.7.13 - 8.7)
Vancouver School of Economics, The University of British Columbia, Canada

客員講師

■ 高橋悠太 (2020.4.1 - 2021.3.31)
一橋大学経済研究所, 日本

■ 公文 謙 (2020.7.14 - 8.31)
Department of Social and Political Sciences, Bocconi University, Italy

■ 両角淳良 (2020.7.22 - 9.11) * 野村財団・奨学研究員 *
School of Economics, University of Nottingham, UK

短期客員研究者

■ Bruno Strulovici (2020.7.8 - 7.20)
Department of Economics, Northwestern University, USA

■ 鎌田雄一郎 (2020.8.17 - 8.24)
Haas School of Business, University of California, Berkeley, USA

■ 天野友道 (2021.1.10 - 1.28)
Harvard Business School, USA

スタッフ

教授



佐藤泰裕



下津克己



高崎善人



青木浩介
(センター長)



福田慎一

顧問

翁 邦雄 (大妻女子大学特任教授)

加藤淳子 (東京大学法学部・大学院法学政治学研究科教授)

清滝信宏 (プリンストン大学経済学部教授)

高田 創 (岡三証券株式会社
グローバル・リサーチ・センター 理事長
エグゼクティブエコノミスト)

西村和雄 (神戸大学経済経営研究所特命教授)

運営委員会

運営委員長

青木浩介 (センター長)

運営委員

粕谷 誠・澤田康幸・下津克己・谷本雅之・福田慎一

CIRJE Newsletter No.29

2021年4月

東京大学大学院経済学研究科附属

日本経済国際共同研究センター

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

tel +81-3-5841-5644 fax +81-3-5841-8294

<http://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/indexj.html>